

◎同盟通信社第十一回理事會議事錄

昭和十三年三月十一日午後一時三十分開會、午後三時閉會
會場 東京市麴町區丸ノ内參丁目拾四番地東京會館

出席理事 貳拾五名

田中 都吉	野中 楠吉	柏岡 清勝
伊豆 富人	一力 次郎	原田 讓二
林 政武	田中 齊	矢上 以久三郎
山田 金次郎	山根 文雄	山本 實一
小坂 武雄	小森 七郎	阿部 暢太郎
美土路 昌一	三木 七郎	柴田 勝衛
森 一兵	杉山 榮	岩永 裕吉
畠山 敏行	古野 伊之助	上田 碩三
堀 義貴	古賀 傳吉 (常務監事)	

社 團
法 人
同盟通信社

委任狀 四名

河村 徹 高石眞五郎 杉山 幹
森田 久

議長 理事會長 田中 都吉

會議 經過

田中議長ヨリ理事高原操氏（大阪朝日新聞社）ハ三月七日附辭任サ
レ後任トシテ原田讓二氏就任ノ旨ヲ告ケ原田新理事ヲ紹介シタル後
議事ニ入ル

一、昭和十三年度豫算案並ニ同事業計畫案ノ件

岩永社長ヨリ本案ハ定款ノ規定ニ依リ二月中ニ提出スヘキ筈ノ處
餘儀ナキ事情ニ基キ延引シタル理由ヲ釋明シ豫算案ニ關シテハ別
紙一般會計並ニ特別會計ニツキ其ノ大要ヲ説明シ又同事業計畫タ
ル

一、在支那支社局ノ新設擴充及復活
二、海外支局ノ新設擴充
三、海外通信蒐集機關ノ擴張強化
四、國內通信蒐集網ノ擴張
五、支那聯絡網ノ整備
六、國內通信網ノ擴充
七、ニュースノ國內無線放送計畫
八、經濟通信用同報電話ノ施設
九、海外通信數量增加計畫
一〇、電送寫眞施設ノ擴充計畫
以上ノ計畫案ノ大綱ヲ述ヘ更ニ現下長期戰ニ入レル支那事變對策
トシテ第十回理事會ニ於テ決定ノ特別事變費分擔ヲ今後モ引續キ
負擔サレタシト提案シタリ

社 團 法 人 同 盟 通 信 社

之ニ對シ山根、森兩理事ヨリ質問並ニ希望意見ノ陳述アリ岩永社
長、島山常務理事ヨリ夫々應答シタル後滿場異議ナク右豫算案、
同事業計畫案並ニ特別事變費ヲ今後引續キ分擔スルコトヲ可決承
認シタリ

次テ岩永社長ヨリ報告事項トシテ

- (一) 常務理事業務分擔變更ノ件
- (二) 常務理事他職兼務ノ件
- (三) 海外支局新設並ニ再開ノ件
- (四) 縮盟通信社契約改訂ノ件
- (五) 對外無線放送ヲ船舶ニ聽取セシムル件
- (六) 中外商業新報社歩ミ通信經營受任ノ件
- (七) 鈴木、藤岡、柳澤三社員社葬ノ件
- (八) 商業通信社增資ノ件

(六) 職制變更ノ件

(三) 社員新聞社異動、件

ニツキ詳細報告シ山根理事ヨリ常務理事ノ他職兼務ニ關聯シテ手
續上ノ希望意見ノ開陳アリ續イテ森理事ヨリ社員新聞社ノ社費月
額ノ最低負擔額引上ケニツキ提案アリ岩永社長考慮スヘキ旨ヲ答
ヘ以上報告ノ諸事項ハ一同異議ナク承認シタリ

以上

議長

理事

同

田中 有
柏 王 清 勝

社團法人
同盟通信社

昭和十三年度收支豫算



一般會計

收入之部		支出之部	
新聞通信收入	2,905,500.―	總體費	950,672.―
經濟通信收入	883,440.―	本社費	743,928.―
海外通信收入	1,156,000.―	國內支社局費	811,656.―
通信外諸收入	127,104.―	海外支社局費	1,334,482.―
受入手數料	47,400.―	電信電話費	1,000,390.―
特別會計剩餘金繰入	1,888.―	支拂手數料	243,780.―
		有形資產償却費	30,000.―
		剩餘金	6,424.―
計	5,121,332.―	計	5,121,332.―

特別會計

收入之部		支出之部	
出版部	353,244.―	出版部	352,760.―
寫真部	353,040.―	寫真部	351,636.―
映畫部	554,180.―	映畫部	554,180.―
		剩餘金	1,888.―
計	1,260,464.―	計	1,260,464.―

昭和十三年度新規模充事業計畫



社團法人 同盟通信社

昭和十三年度新規擴充事業計畫

一、在支那支社局の新設擴充

最近に於ける支那の情勢に鑑み我社の在支支社局を著しく擴充強化するの要あり既に北支總局を新設したる外新設支局約十ヶ所に達すべき見込なり。

二、海外支局の新設擴充

我社の海外通信網擴大強化の爲め左の通り海外支局の新設擴充を爲さむとす。

(イ) 新設支局		二ヶ所	
		米	歐
		洲	洲
		一ヶ所	一ヶ所
(ロ) 擴充支局		四ヶ所	
		米	歐
		洲	洲
		一ヶ所	三ヶ所

三、海外通信蒐集機關の擴張

我社の海外ニユース蒐集機關を擴張強化する爲め海外樞要地に左の通り通信員を新設若しくは通信員の待遇改善を爲さむとす。

(1) 新設箇所

二十五ヶ所

支那方面 十六ヶ所
印度南洋方面 四ヶ所
歐米方面 五ヶ所

(2) 待遇改善箇所

九ヶ所

滿洲方面 一ヶ所
印度南洋方面 三ヶ所
歐米方面 五ヶ所

四、國內通信蒐集網の擴張

十三年度に於ては新に二十ヶ所の通信員を増置して國內ニユース蒐集網の充實を圖らむとす。

五、支那聯絡網の整備

支那各地相互間の通信聯絡上遺憾なきを期する爲め支那に於ける聯

絡機構を整備強化することの緊要且急務なるを認め通信設備の改善を計らむとす。

六、國內通信網の擴充

十三年度に於ては差向き大阪金澤間専用電話を実施することとし既に官廳の許可を得たり、其他我社の未だ専用電話線の施設を有せざる重要都市間についても政府電話線の許す限り關係新聞社との協議成立して收支略相償ふ見込つき次第實施する豫定なり。

七、ニュースの國內無線放送計畫

政府當局に於て建設工事中の送信所及受信所は近く竣工の豫定につき我社に於ても之れに必要な施設を爲し以て地方新聞社の要望に副はむとす。

八、經濟通信用同報電話の實施

經濟通信購讀者に對する市内同報電話施設方については豫て遞信省

に出願中の處近く實施を見ることを得る見込なるにつき第一期計畫として東京、大阪、名古屋の三大都市に施設する豫定なり。

九、海外通信數量増加

刻下の國際情勢に鑑み對外報道に力を注ぐと共に海外ニュース取材の充實を圖らむとす。

十、電送寫眞施設の擴張

寫眞通信の速報、充實を期する爲め携帯用電送機の増設を實施する豫定なり。

社 信 通 盟 同 法 人 團



大京釜臺鹿熊長佐福大下松廣高徳高岡姫神京金霸豊濱横松岡甲長富新前足桐仙青函國名大
見
連城山北島本崎賀岡分關山島知島松山路戸都澤井橋松濱本谷府野山湯橋利生臺森館門星阪
ジリダシシバスマホキ摩羅桑晚經莫伯巴倫盤芝福香廣漢南濟青天北山安海齊齋奉新哈上
ヤオウグダウボシタフパノノ盛盛香斯
イロオールヤヤラ、頓府府港城育科林里致谷栗州港東口京南島津平關東爾爾里天京賀海

盟 聯 信 通 界 世
タ ステフアニ (伊) ス (德)
ハ バス (佛)
D・N・B (獨)
アツエーテツド
ロイテル (英)
同 盟 通 信 (日)

本 社
東京市京橋區
銀座四丁目
電話 東京八五〇〇番
東京中央郵便局
私 番 一三四
電話 代表番號
銀座(5) 二二番(5)
電信略號
トウクウドウノイ

報 告 事 項

一、常務理事業務分擔變更ノ件

後ニ述フル如ク北京ニ北支總局設置ニ伴ヒ二月一日常務理事ノ業務分擔ヲ左ノ如ク變更シタリ

北支總局長	古野	常務理事
總務局長 兼事業局長	畠山	常務理事
內信局長 兼聯絡局長	上田	常務理事
外信局長 兼經濟局長	堀	常務理事

一、常務理事他職兼務ノ件

畠山常務理事ハ昨年十二月日本電報通信社株主總會ニ
於テ同社監査役ニ選任サレタリ
當社カ同社ニ對スル特殊關係ニ鑑ミ右監査役就任ハ必
要ト認メラル

一、海外支局新設並ニ再開ノ件

昨年八月以後事業ノ發展及支那事變進展ニ伴ヒ海外支局ノ
新設並ニ再開セルモノ左ノ如シ

新 設

孟 買 支 局	羅 馬 支 局	壽 府 支 局	ワ ル ソ ー 支 局	新 嘉 坡 支 局	香 港 支 局
---------	---------	---------	-------------	-----------	---------

再 開

青 島 支 局	南 京 支 局	濟 南 支 局
---------	---------	---------

(一) 締盟通信社契約改訂ノ件

海外締盟通信社トノ現行契約中ニハ現情ニ則セサル不備ノ點多キニ鑑ミ、昨年十二月二十日、佛國アパス通信社トノ間ニ契約ヲ更改シタリ、又ロイテル通信社トノ現行契約ハ本年十月末日有効期限到來スルヲ以テ既ニ昨年末契約改訂ノ交渉ヲ爲スヘキ旨申込ミタリ、更ニA・P、U・P、ニ對シテモ契約改訂ノ要アルニツキ、之カ爲ニハ社長又ハ他ノ役員現地ニ出張ノ上相手方當事者ト折衝ヲ爲ス必要ヲ生スルコトアルヘシ

一、對外無線放送ヲ船舶ニ聴取セシムル件

從來航行中ノ船舶ニ對シテハ特定ノ無線放送電報ヲ聴取セシメ居タル處遠洋航行ノ船舶ヨリ當社ノ對外無線放送聴取希望ノ申出アリ右ニツキ遞信當局ト協議ノ結果二月一日ヨリ現在船舶無線放送聴取契約アルモノニ限り一定語數ノ對外放送ヲ聴取セシムルコト、ナレリ

一、中外商業新報社歩ミ通信經營受任ノ件

從來對立的立場ニアリシ中外商業新報社ノ大阪、名古屋ニ於
ケル株式歩ミ通信ハ二月一日ヨリ當社ニ於テ委任經營ヲ受ク
ルコト、ナレリ

一、鈴木、藤岡、柳澤三社員社葬ノ件

(イ) 滿洲國通信社出向社員鈴木二郎ハ一月十三日測石嶺ニ於テ支那敗殘兵ノ襲撃ヲ受ケ重傷ヲ負ヒ同月二十六日死亡セル爲メ二月五日新京ニテ同盟、國通兩社ノ合同社葬ヲ執行シタリ

(ロ) 外信部次長藤岡正治ハ從軍中一月三十日津浦線池河驛附近ニ於テ敵兵ノ襲撃ヲ受ケ戦死ヲ遂ケタルヲ以テ二月十五日築地本願寺ニ於テ社葬ヲ執行シタリ

(ハ) 映畫部從軍特派員柳澤文雄ハ二月十三日津浦線小雪附近ニ於テ敵兵ノ襲撃ニヨリ戦死シタルヲ以テ同月二十六日青山齋場ニテ同様社葬ヲ執行シタリ

一、商通増資ノ件

當社ノ姉妹會社タル日本商業通信社ニ於テハ株式會社商業通信社（東京市日本橋區蠣殻町）買收ノ爲メ從來ノ資本金貳拾萬圓ヲ參拾萬圓（全額拂込）ニ變更シ拾萬圓増資シタルガ當社ニ於テ右増資全部ヲ引受ケ一月八日拂込ヲ了シタリ

一、職制變更ノ件

第十回理事會ニ於テ業務開始ノ承認ヲ得タル映畫部新設ニ關
スル職制ノ改正及支那事變進展ニ伴ヒ北支ニ於ケル通信總轄
ノ必要上北京ニ北支總局ヲ新設シタルヲ以テ之レニ關聯スル
職制變更ヲ實施シタリ

一、社員新聞社異動ノ件

昨年八月二十三日ノ第十回理事會ニ於テ報告セル社員總數ハ百九十四社ナリシ處其後帝國今夕新聞社（昭和十二年十月十八日）退社アリ一方臺灣放送協會（同年九月一日）唐津日日新聞社（同年九月十五日）峽中日報社（同年十月一日）新福井日報社（同年十月十一日）工業日日新聞社（同年十月十五日）東亞日日新聞社（同年十一月八日）北國日報社（同年十一月二十四日）新岩手日報社（同年十二月二十八日）名古屋日日新聞社（昭和十三年二月五日）佐賀日日新聞社（同年二月十六日）計十社ノ新加盟ヲ見タル爲メ現在社員總數ハ二百〇三社トナレリ

社 信 通 盟 同 法 人 團

大京釜鹿熊長佐爾大下松廣高徳高岡姫神京金福豊濱橋松岡甲長富新府足桐仙青函國名大
見 古

連城山北島本結賀岡分國山島知島松山路戸都渾井橋松濱本谷府野山湯橋利生臺森館門屋阪

ジリダシ シンバスマホ 華壽區桑曉翌莫伯巴倫盤之爾香廣漢南濟青天北山安海齊齊泰新哈上
ヤオヴ アニ ボガニ ノ 盛 香 斯 海 拉 哈 洲 爾
ネー オール ヤラ、 領府府港坡育科林里教谷崇州港東口京南島津平麗東爾爾里天京寶海

盟 聯 信 通 界 世

同 盟 通 信 (日)
ロ イ テ ル (英)
ア ソ シ エ テ ッ ド
・ プ レ ス (米)
D・N・B (獨)
ハ バ ス (佛)
ス テ フ ア ニ (伊)
ス (意)

本 社 東京市京橋區
銀座四七丁目
電話東京八五〇〇番
東京中央郵便局
私 書 函 一三四
電 話 代 表 番 號
銀座(57)二二二番(5)
電 信 略 號
トウクウドウイ

職 制 要 旨

(4) 事業局ニ映畫部新設ニ付現行職制中左ノ通り一部改正シ昭和十二年十月一日ヨリ施行セリ

記

現行職制中第十六條及第十七條ヲ左ノ通り改ム

第十六條 事業局ハ左ノ事務ヲ掌ル

一、寫眞製版ノ作成及其ノ供給ニ關スル事務

二、映畫ノ製作及其ノ供給ニ關スル事務

三、出版ニ關スル事務

四、本社又ハ社員新聞社ノ計畫ニ關スル各種ノ事業ニ關

スル事務

五、國際經濟週報ノ編輯

第十七條 事業局ニ左ノ各部ヲ置キ各部ニ部長ヲ置ク各部ノ事務分擔ハ社長ノ承認ヲ經テ事業局長之ヲ定ム

一、寫眞部

二、映書部

三、出版部

四、週報部

必要ニ依リ部長ノ下ニ次長又ハ主任ヲ置クコトアル
ヘシ

(ロ) 北京支局ヲ廢止シ同地ニ北支總局ヲ設置スル事ニ決定セルニ
付現行職制ノ一部ヲ左ノ通り改正シ昭和十三年二月一日ヨリ
之ヲ實施セリ

記

現行第八章第十八條及第十九條ヲ左ノ如ク改メ且ツ現行職
制第十八條ヲ第二十條トシ以下順次繰下ク

第八章 北支總局及支社

第十八條 北京ニ北支總局ヲ置キ總局長ヲ置ク總局長ハ社長ノ命ヲ承ケ總局及北支各支局ノ事務ヲ統轄ス但シ統轄スヘキ支局名ハ別ニ之ヲ指定ス

第十九條 北支總局ニ左ノ各部ヲ置キ各部ニ部長ヲ置ク各部ノ事務分擔ハ社長ノ承認ヲ經テ總局長之ヲ定ム

一、總務部

二、通信部

三、經濟部

四、聯絡部

五、英文部

六、華文部

七、寫眞部

必要ニ依リ部長ノ下ニ次長又ハ主任ヲ置クコトアルヘシ

△改正職制第十八條ニ依リ北支總局長ノ統轄スル北支各支局

一	天	津	支	局	
二	張	家	口	支	局
三	綏	遠	支	局	
四	濟	南	支	局	
五	青	島	支	局	

(ハ)東京本社事業局及大阪、名古屋兩支社ノ部名ノ一部ヲ左ノ通り
改稱昭和十三年二月一日ヨリ實施セリ

「新 部 名」

本社事業局調査部
大阪支社通信部
名古屋支社通信部

「舊 部 名」

本社事業局週報部
大阪支社編輯部
名古屋支社社會部

以上

理事會 報告事項參考圖書

(一) 對外無線放送ヲ船舶ニ聽取セシムル件

(イ) 收入 (三月一日現在月額)

契約船數 三七〇隻 三、六六四圓

(ロ) 支出 (同上)

船舶放送聽取料 六三〇圓

同 基本料 六二〇圓

人 件 費 三五〇圓

計 一、六〇〇圓

(ニ) 差引剩餘金 二、〇六四圓

同上年額 二、四七六八圓

(三) 遠洋航行船舶ニ對スル一定語數ノ聽取料金ハ目下交渉中、

(一) 商通増資ノ件

(イ) 昭和十二年六月二十八日開催ノ第九回理事會ニ於テ報告済事項

「朝鮮ニ於ケル日本商業通信社ノ事業ヲ買收シ、之ニ當社ノ國內經濟通信ノ一部ヲ合シテ新ニ資本金貳拾萬圓金額拂込済ミノ株式會社日本商業通信社ヲ創立、六月十七日ニ其登記ヲ完了シ、七月一日ヨリ業務開始ノ豫定ナル旨」

(ロ) 昭和十二年八月二十三日開催ノ第十回理事會ニ於テ報告済事項

「株式會社日本商業通信社ハ七月一日ヨリ業務ヲ開始セル旨」

(二) 參考事項

○資本金貳拾萬圓ノ基礎的數字

事務系統別		財 産	營業權	計
同盟十三支局	一九九三四	六九七七六	八九七一〇	
同盟特殊通信	三〇七五	一五三六五	一八四四〇	
舊日本商通及商通社	五七三九一	一八四五九	七五八五〇	
計	八〇、四〇〇	一〇三、六〇〇	一八四、〇〇〇	

○増資ノ必要、及其基礎的數字

策

増資ノ必要ハ日本商業通信社ガ通信統制上將又社業發展
 業上、常ニ對立的立場ニ在リテ競争シ來リタル商業通信
 社ヲ買收スルコト、ナリ（十二年十一月三十日調印）、
 タルニヨル、

増資十萬圓ノ基礎的數字ハ前記買收金六八、〇〇〇圓（財
 産四、〇〇〇圓、營業權二七、〇〇〇圓）ノ外運轉資金ヲ
 含メテ算定セルモノナリ、

○最近ノ業績

創立當初ハ一ヶ月平均ニセ〇〇圓程度ノ収益ヲ舉ゲツ、
アリシ處、商業通信社買收後ハ通信料ノ値上ガ可能ナル
ト同時ニ無用ナル競争費ヲ節減シ得ルコトナリタルヲ以
テ、今日ノ業績ヨリスレバ一ヶ年四萬圓以上ノ純収益ハ
期待シウベク、從ツテ諸積立金ヲ控除スルモ、五分程度
配當金ハ充分ニ保證シ得ルニ至レリ、

(一) 中外商業新報社步ミ通信經營受任ノ件

月 額

(イ) 收 入

三一九二圓

(ロ) 支 出

一三一五圓

(ハ) 差引益金

一八七七圓

(ニ) 同盟ノ經費節約額

八四〇圓

(ホ) 右(イ)(ロ)合計益金

二七一一七圓

(ヘ) 右ニ對シ受託代償金トシテ中外商業新報社へ毎月二二九六圓支拂フ

(ト) 七ヶ年後ハ右短期步ミ通信一切ノ權利ハ無償ニテ同盟ニ移讓サル